

第247回東京都都市計画審議会

説明資料

令和6年11月
東京都

令和6年11月15日
都 市 整 備 局

第247回東京都都市計画審議会 資料一覧

資料1 議案一覧表

資料2 第247回東京都都市計画審議会議案・資料（薄茶色表紙）

資料3 第247回東京都都市計画審議会議案・資料 別冊（桃色表紙）
委員の異動報告・委員名簿・幹事名簿

資料4 第247回東京都都市計画審議会議案・資料 別冊（クリーム色表紙）
意見書の要旨

第247回東京都都市計画審議会議案一覧表

○ 都市計画決定・変更案件について

議事日程	議題			
	議番	題号	内 容	名 称 等
日程第1	議第7672号	多摩都市計画、八王子都市 計画、日野都市計画 及び町田都市計画下水道	変更	多摩川右岸南多摩流域下水道
日程第2	議第7673号	東京都市計画地区計画	変更	六本木・虎ノ門地区地区計画
	議第7674号	東京都市計画地区計画	変更	広町地区地区計画

委 員 の 異 動 報 告

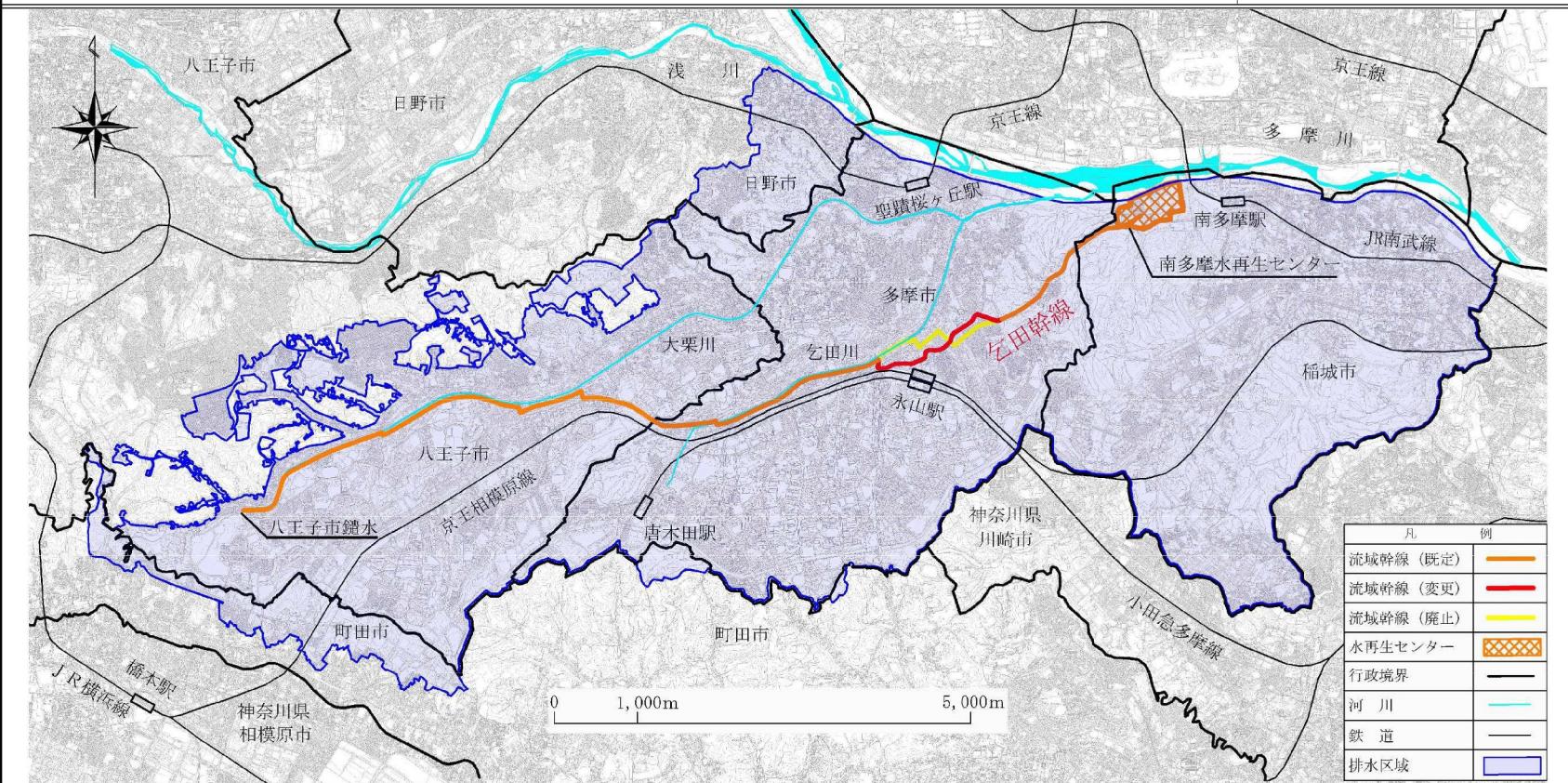
議席 番号	現 委 員		前 委 員	
	職 名	氏 名	職 名	氏 名
18番	東京都議会議員	斎藤 やすひろ	東京都議会議員	中山 信行
29番	東京都議会議員	西 沢 けいた	東京都議会議員	竹 井 ようこ

東京都都市計画審議会委員名簿		
(令和6年11月15日)		
議席番号	現職	氏名
会長	東日本建設業保証株式会社相談役	原田保夫
1番	東京都議会議員	鈴木章浩
2番	財務省関東財務局長	日黒克幸
3番	東京都農業会議会長	青山佾
4番	東京都議会議員	柴崎幹男
5番	農林水産省関東農政局長	安東隆
7番	東京都議会議員	伊藤大輔
8番	足立区長	近藤弥生
9番	港区議会議長	鈴木たかや
10番	経済産業省関東経済産業局長	佐合達矢
11番	東京商工会議所常議員	中村節雄
12番	東京都議会議員	尾崎大介
13番	国土交通省関東運輸局長	藤田礼子
14番	横浜国立大学大学院都市イノベーション 研究院教授	松行美帆子
15番	東京都議会議員	加藤雅之

16番	国土交通省関東地方整備局長	岩崎福久
17番	東京農業大学地域環境科学部教授	水庭千鶴子
18番	東京都議会議員	斎藤やすひろ
19番	東村山市長	渡部尚
20番	国際市議会議長	高柳貴美代
21番	東京都議会議員	原田あきら
22番	NPO法人持続可能な社会をつくる元気 ネット理事長	鬼沢良子
23番	東京都議会議員	尾崎あや子
24番	警視総監	緒方禎己
25番	大妻女子大学社会情報学部教授	松本暢子
26番	東京都議会議員	中田たかし
27番	消防総監	吉田義実
28番	早稲田大学創造理工学部教授	佐々木邦明
29番	東京都議会議員	西沢けいた
30番	瑞穂町長	杉浦裕之
31番	日の出町議会議長	東亨
32番	株式会社ドリームインキュベータ取締役	宇田左近
33番	弁護士	町野静

多摩都市計画、八王子都市計画、日野都市計画
及び町田都市計画下水道
多摩川右岸南多摩流域下水道 位置図

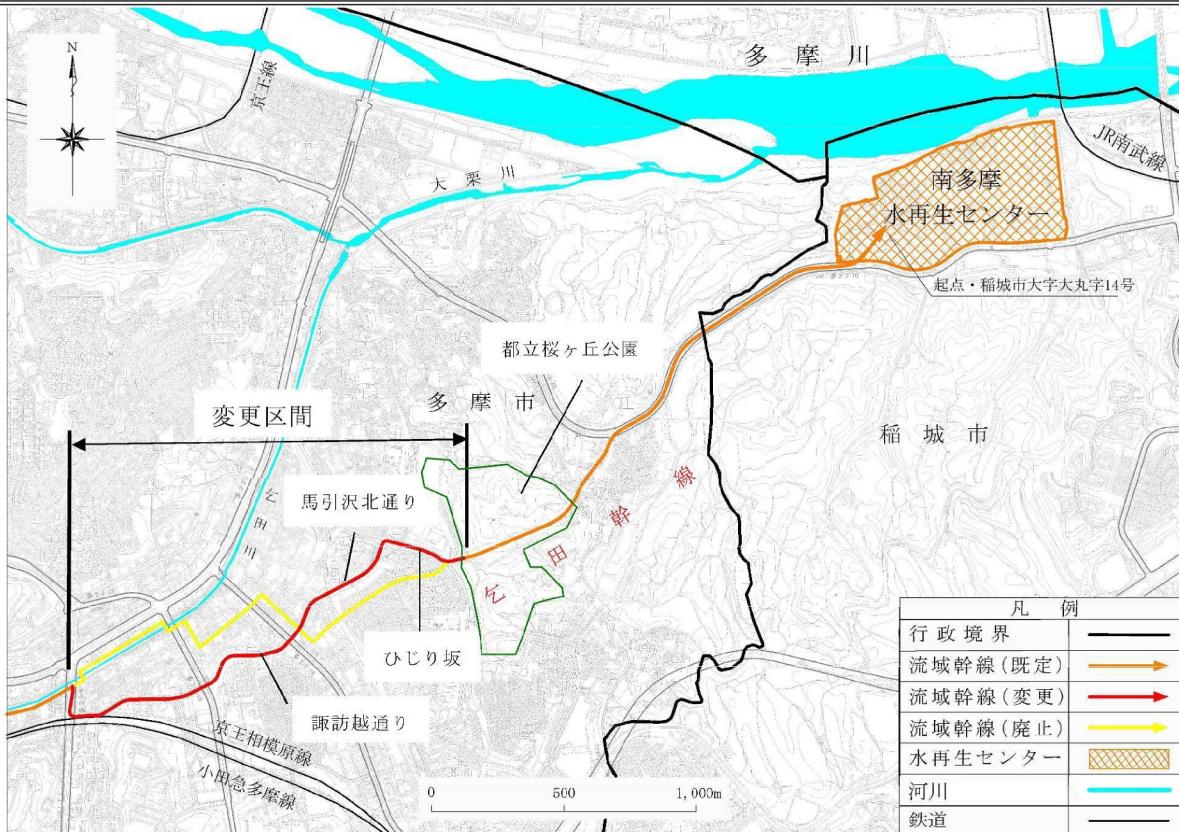
[東京都決定]



この地図は、国土地理院の承認（平成24閏公第269号）を得て作成した東京都地形図（1:2,500）を使用（5都市基交第1679号）して作成したものである。
無断複製を禁ずる。（承認番号）5都市基交都1679号、令和6年2月15日

多摩都市計画、八王子都市計画、日野都市計画
及び町田都市計画下水道
多摩川右岸南多摩流域下水道 計画図

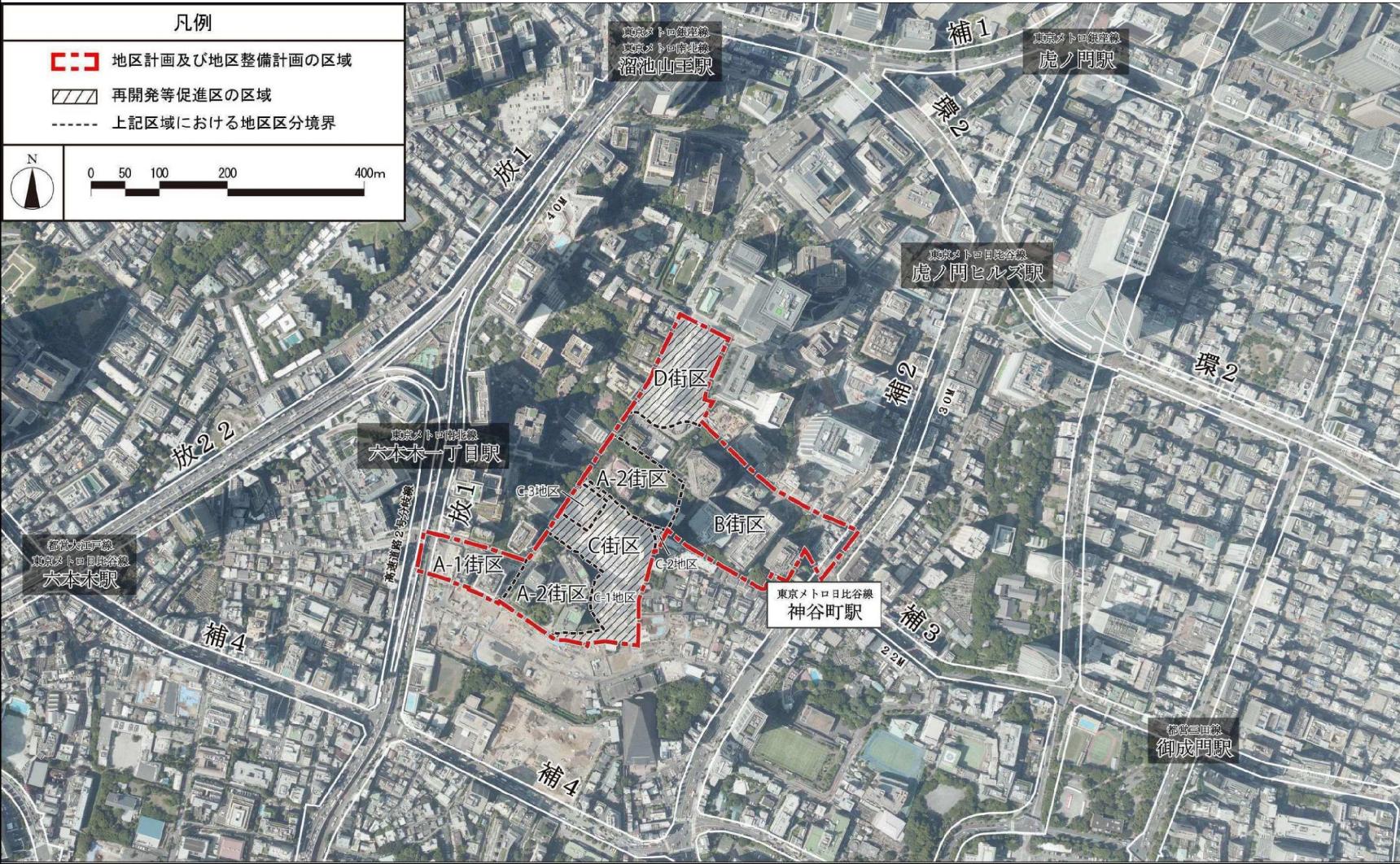
[東京都決定]



この地図は、国土地理院の承認（平成24年公第269号）を得て作成した東京都地形図（1:2,500）を使用（5都市基交第1679号）して作成したものである。
無断複製を禁ずる。（承認番号）5都市基交都1679号、令和6年2月15日

東京都市計画地区計画 六本木・虎ノ門地区地区計画 航空写真

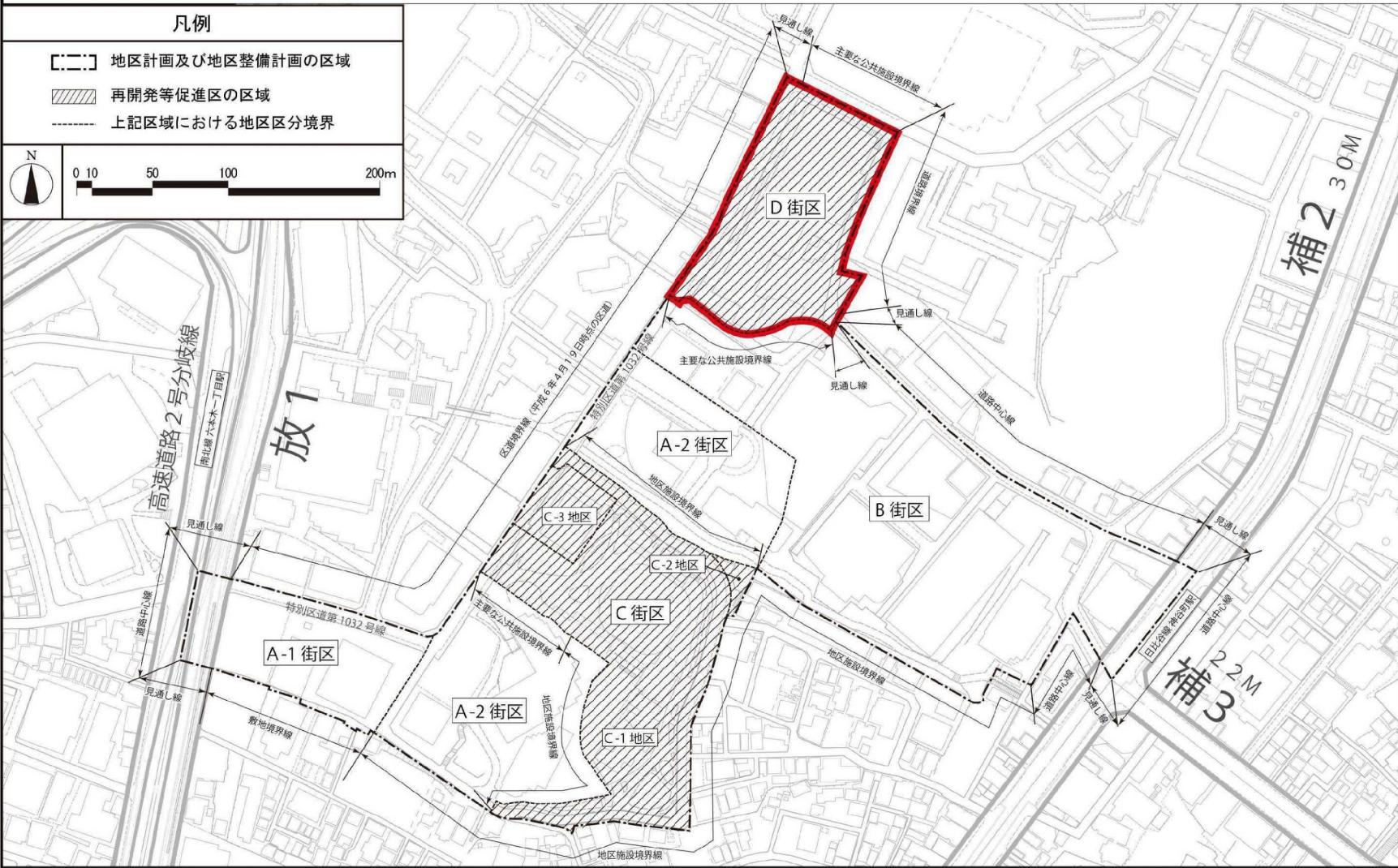
[東京都決定]



地図・空中写真閲覧サービス空中写真データ（国土地理院）をもとに作成。

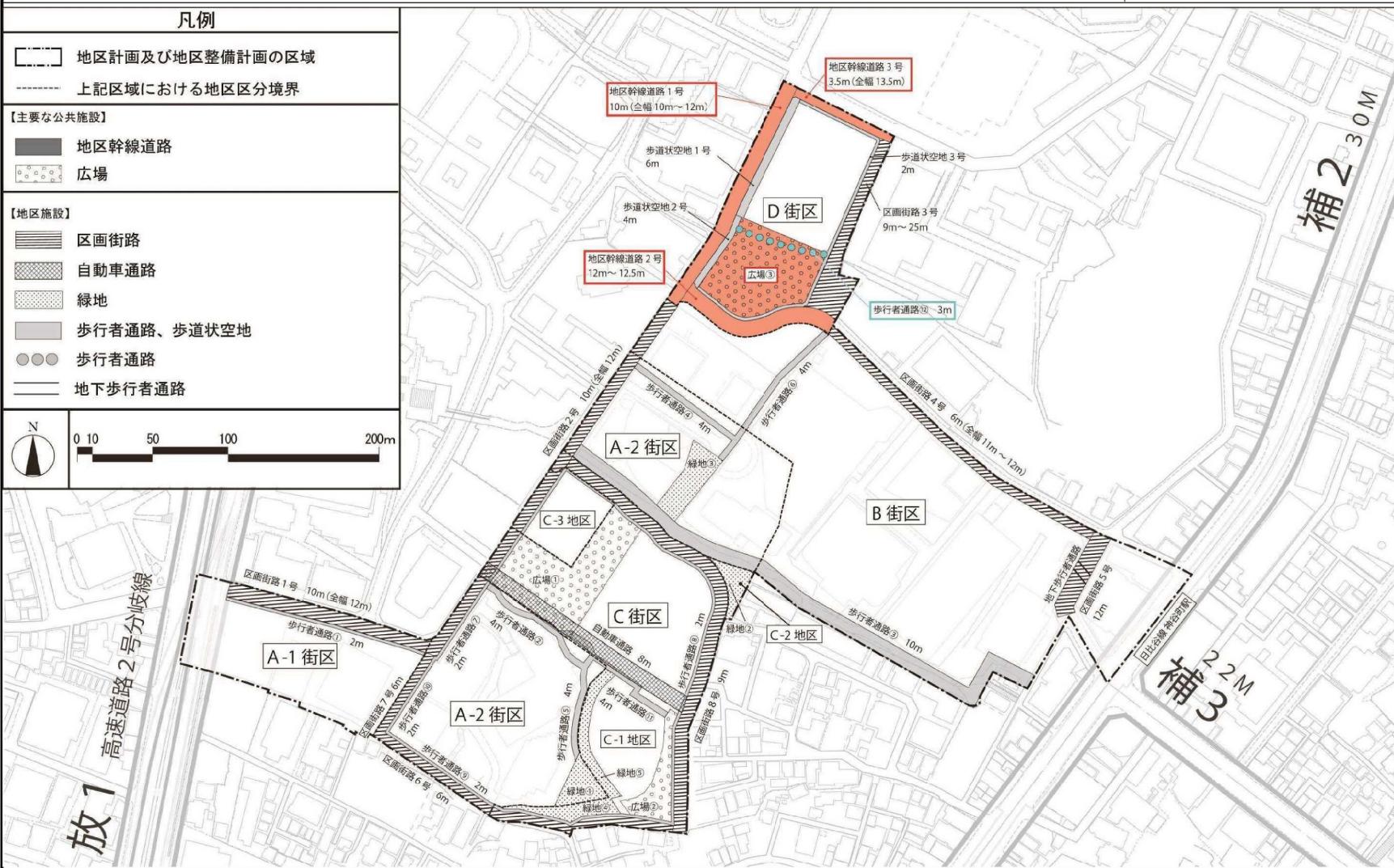
東京都市計画地区計画 六本木・虎ノ門地区地区計画 計画図 1

[東京都決定]



東京都市計画地区計画
六本木・虎ノ門地区地区計画 計画図 2

[東京都決定]



この地図は、国土地理院の承認（29国地閏公第444号）を得て作成した東京都地形図（1:2,500）を使用（5都市基交第1306号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
(承認番号) 5都市基交都第241号、令和5年11月24日 (承認番号) 5都市基交都第54号、令和5年11月28日

意見書の要旨

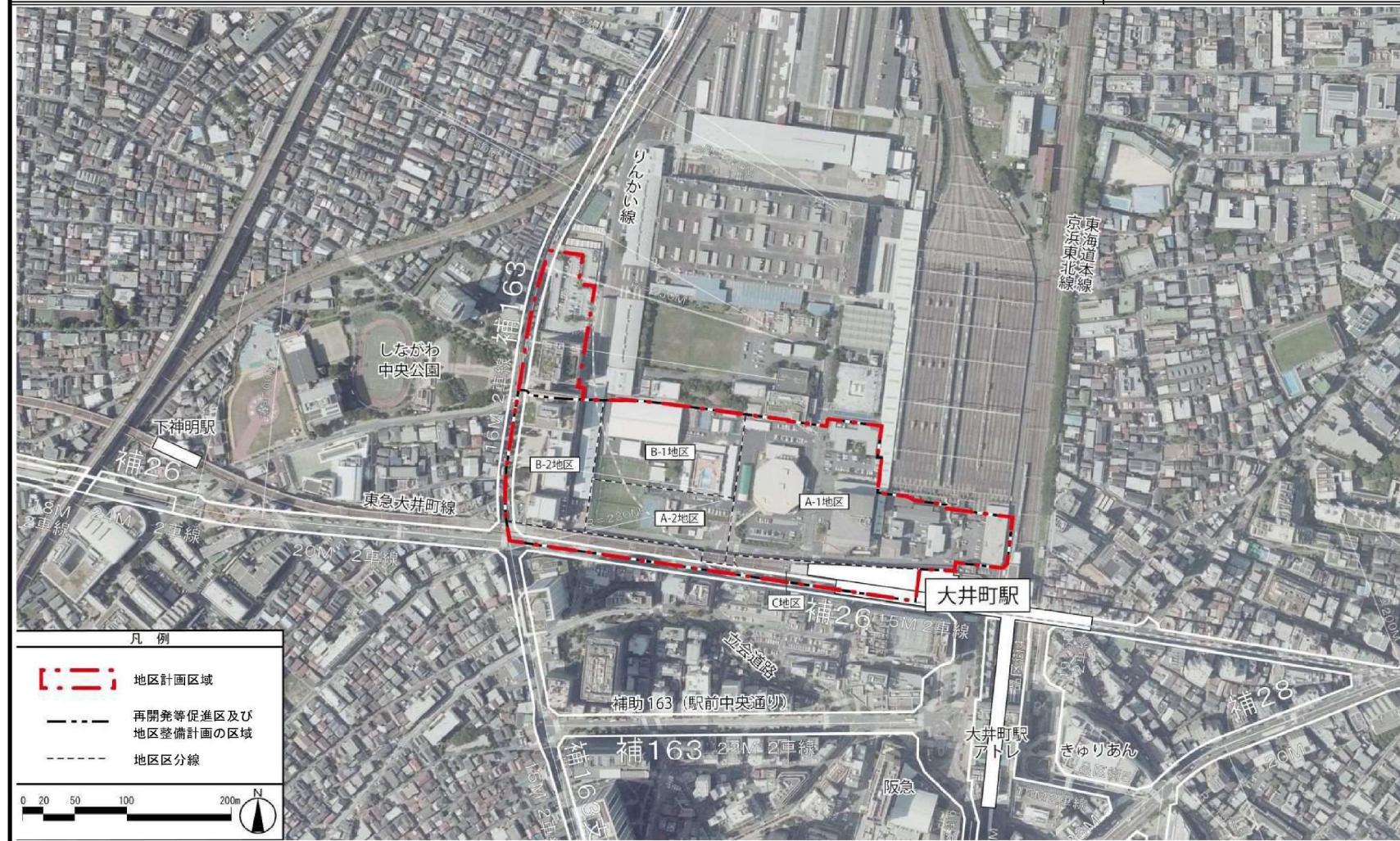
[議第 7673 号]

東京都市計画地区計画の変更に係る都市計画の案を令和6年9月20日から2週間公衆の縦覧に供したところ、都市計画法第21条第2項において準用する同法第17条第2項の規定により、1通（1名）の意見書の提出があった。その意見書の要旨は次のとおりである。

名 称	意 見 書 の 要 旨	東 京 都 の 見 解
東京都市計画 地区計画 六本木・虎ノ門 地区地区計画	<p>I 賛成意見に関するもの なし</p> <p>II 反対意見に関するもの 1通（1名）</p> <p>1 都市計画に関する意見 (1) A-2街区から麻布台ヒルズに向かう道はこの春大変風が強く、危険な思いを度々した。B街区のワールドゲイトの前もとても風が強くて通るのが大変である。麻布台ヒルズもワールドゲートも風環境の検証をし開発されたと思うが、実際完成してみるとこのようなことになっている。今回のD街区の開発でも検証をしっかりされているとのことだったが、完成後をとても心配している。出来上がった後でも何らかの工夫や対応をしていただけるように開発主体に対して要請をしていただければと思う。</p> <p>2 その他の意見 (1) A-1街区にかかる道路沿いは電線の地中化が行われていない。周辺は地中化されているのでそう難しいことではないよう思う。周辺と合わせて早くきれいにしていただければと思う。</p>	<p>I 賛成意見に関するもの</p> <p>II 反対意見に関するもの</p> <p>1 都市計画に関する意見 (1) 今回の開発に伴う風環境については、港区環境影響調査実施要綱に基づき、事業者が調査、予測を実施しており、植栽等による防風対策を講じることなどにより、住宅地相当、低中層市街地相当の風環境が確保される計画となっている。 また、建物の供用後においても、事業者は事後調査を行い、環境に著しい影響を及ぼすおそれがあると認められる場合には、必要な措置を講じていくこととしている。 さらに、事業者は、計画の具体化にあわせ、周辺環境への影響がより小さくなるよう、検討していくこととしている。</p> <p>2 その他の意見 (1) A-1街区北側の特別区道第1032号線については、港区無電柱化推進計画において、優先整備路線に選定されており、沿道住民等との協働により合意形成を図りながら、優先的に無電柱化を推進することとされている。</p>

東京都都市計画地区計画
広町地区地区計画 航空写真

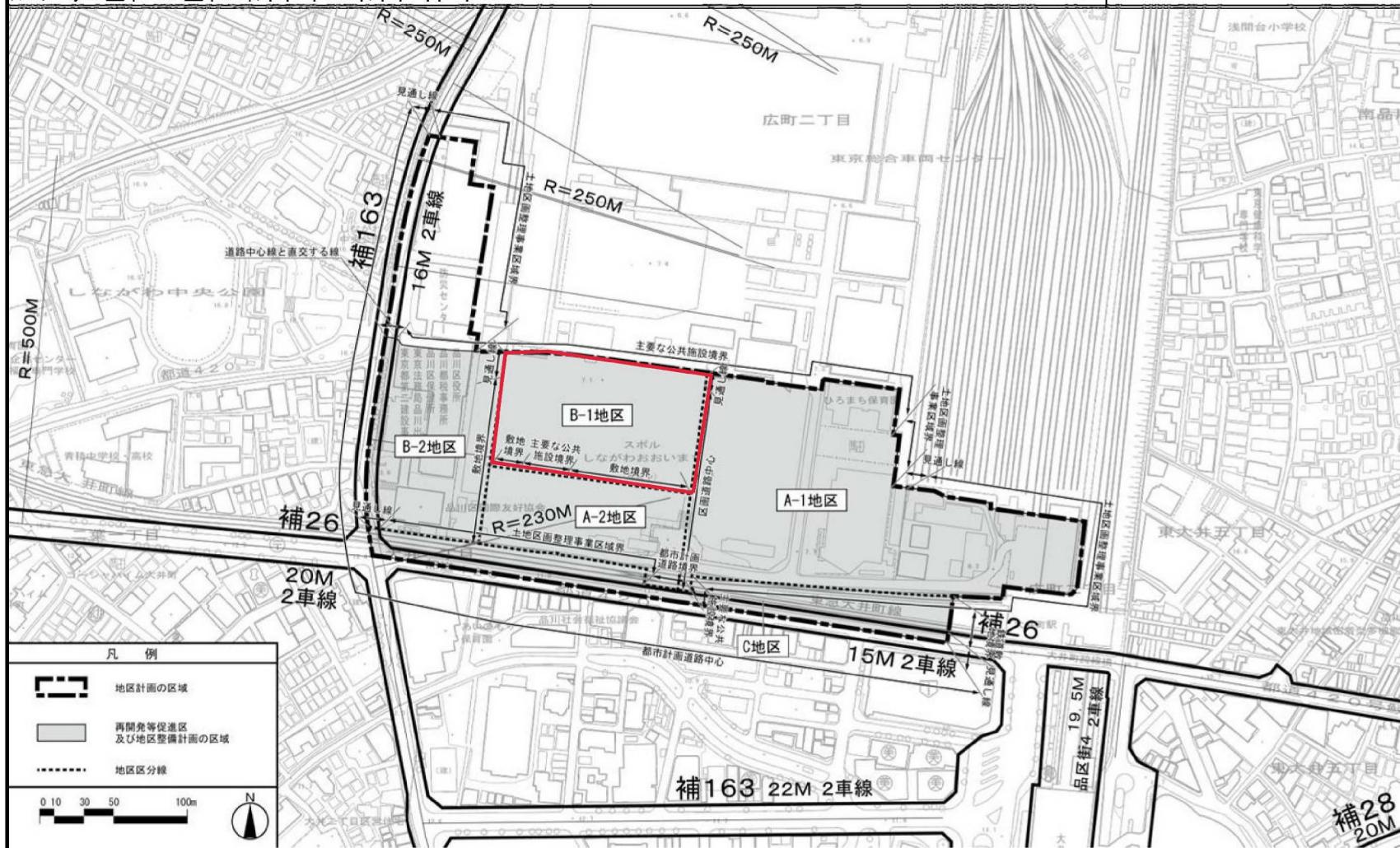
〔東京都決定〕



地図・空中写真閲覧サービス空中写真データ（国土地理院）をもとに作成。

東京都市計画地区計画
広町地区地区計画 計画図 1

[東京都決定]

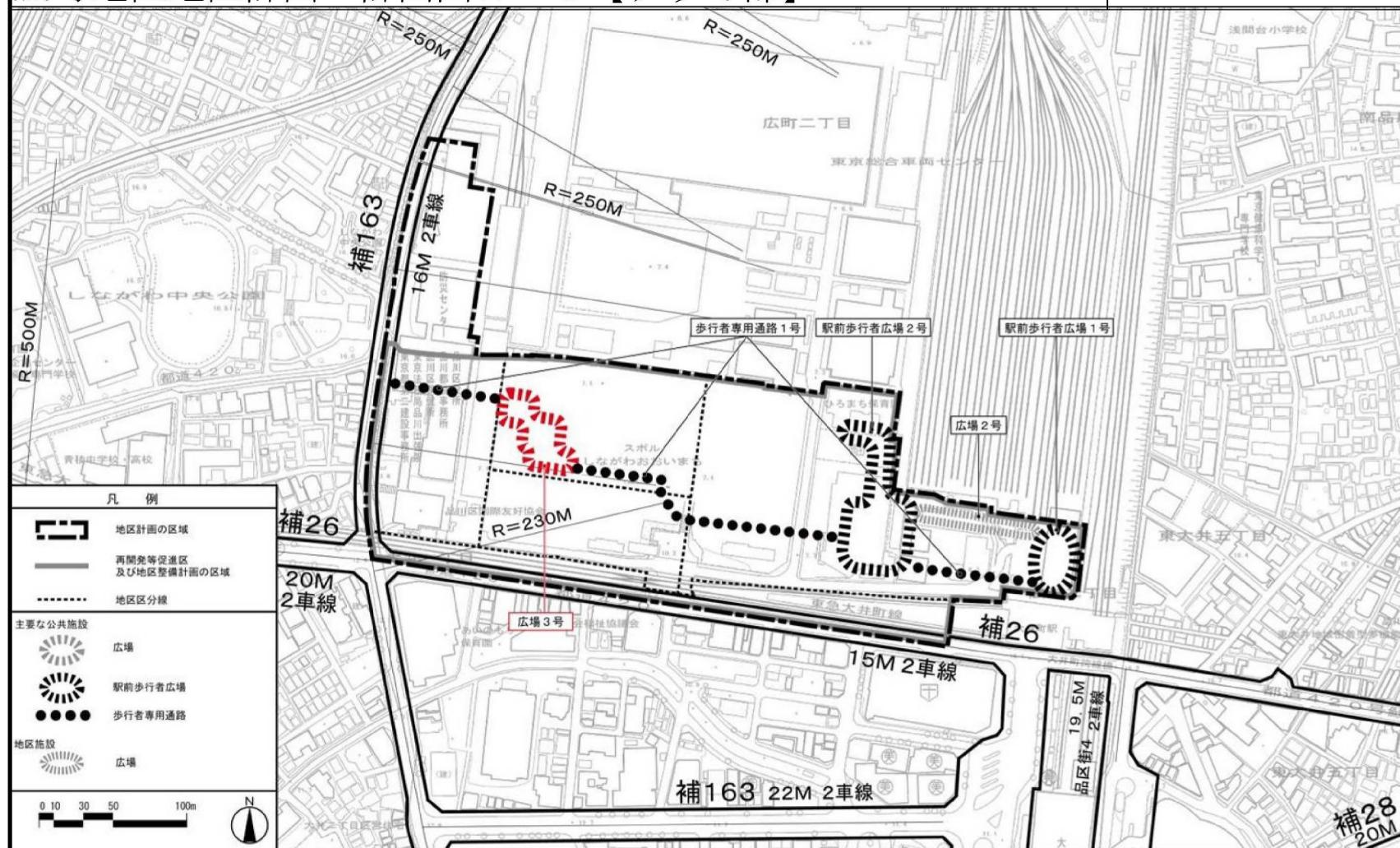


この地図は、国土地理院長の承認（平29国開公第444号）を得て作成した東京都地形図を使用（6都市基交第447号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
(承認番号) 6都市基街都第20号、令和6年4月22日

東京都市計画地区計画

広町地区地区計画 計画図 2-1 【デッキ部】

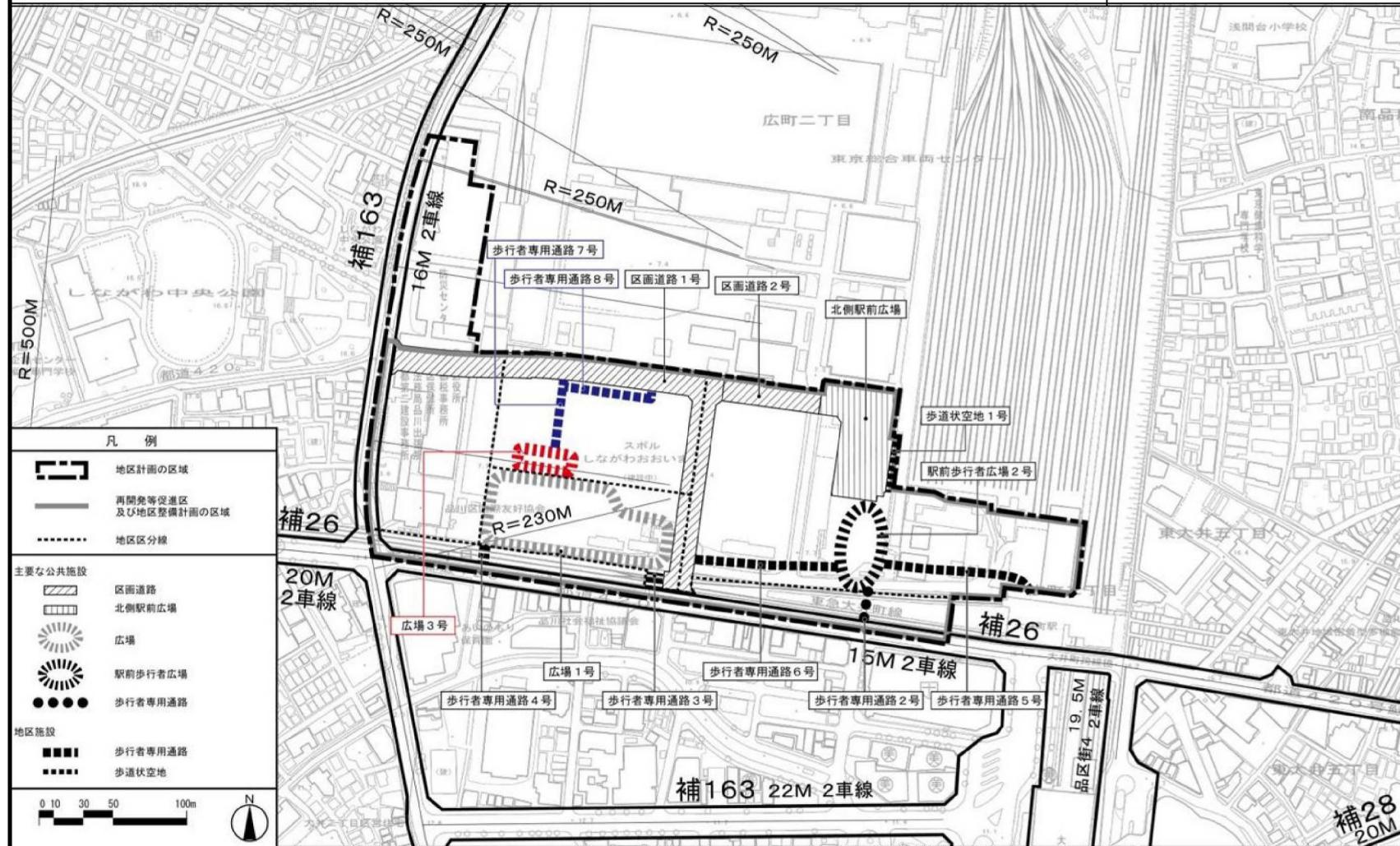
[東京都決定]



この地図は、国土地理院長の承認（平29国閑公第444号）を得て作成した東京都地形図を使用（6都市基交第447号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
(承認番号) 6都市基街都第20号、令和6年4月22日

東京都市計画地区計画
広町地区地区計画 計画図 2-2 【地上部】

[東京都決定]



この地図は、国土地理院の承認（平29国閏公第444号）を得て作成した東京都地形図を使用（6都市基交第447号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
(承認番号) 6都市基街都第20号、令和6年4月22日

意 見 書 の 要 旨

[議第 7674 号]

東京都市計画広町地区地区計画の変更に係る都市計画の案を令和6年9月20日から2週間公衆の縦覧に供したところ、都市計画法第21条第2項において準用する同法第17条第2項の規定により、4通（4名）の意見書の提出があった。その意見書の要旨は次のとおりである。

名 称	意 見 書 の 要 旨	東 京 都 の 見 解
東京都市計画 地区計画 広町地区地区計 画	<p>I 賛成意見に関するもの なし</p> <p>II 反対意見に関するもの 3通（3名）</p> <p>1 都市計画に関する意見 (1) 本案件においても都市計画が住民の福祉や安寧、幸福を最優先した公共サービスの本質から逸脱して、連携企業との関係において、企業の利益を住民のそれに優先して計画が立てられ推進されようとしているのではないかと思わざるをえないような、説明会での曖昧さ、質疑への答えの不十分さ、対応している区職員の惰性や創意工夫の無さ、都の計画に盲従してこれの遂行のみに近視眼的に邁進し、住民の為の公儀であるという公務員の職務の本質を忘れてしまったかのような官僚主義のありようを見せられて、嘆息している。 新庁舎は急いで建て替える必要のないまだ耐用年数が残っている現庁舎である。物資の価格高騰、人件費の高騰により事業費も高騰しており、区民の為の福祉などのサービスをおろそかにしている品川区が区民の負担を増やしてまでこちらの建設を優先すべきではない。 情報の透明性が全く欠けていて、先進国で起こっている事業とは思いたくないほど、問題だらけの事業計画である。人権にかかわる国際条約など国内法より上位に合って尊重され</p>	<p>I 賛成意見に関するもの</p> <p>II 反対意見に関するもの</p> <p>1 都市計画に関する意見 (1)、(2) 広町地区は、大井町駅に近接する交通利便性の高い地区であるとともに、品川区役所等の行政機関が集積する品川区の中心的な拠点となっている。一方で駅周辺は、歩行者空間や避難可能なオープンスペースの不足、周辺道路との高低差による地域の分断、区庁舎の老朽化等の課題を抱えている。 当地区では、こうした状況を背景に策定された「大井町駅周辺地域まちづくり方針」を踏まえ、駅前広場や重層的な歩行者ネットワークの整備等による交通結節機能及び、区庁舎再編と連携した地域防災力の強化、緑とオープンスペースの形成などを図り、区の中心核にふさわしい複合拠点を形成するものである。また、新庁舎については、区民活動を活性化し、区の中心核としてのシビックコアの形成を支えるため、区民サービスの向上に資する行政機能や区民協働・交流機能等を配置する計画としている。 品川区役所の新庁舎を含む大井町駅周辺のまちづくりについて区は、平成23年6月に「大井町駅周辺地区まちづくり構</p>

